NINTENDO DS

知的好奇心研究所 なるほど堂

SEGA



MAINICHI
毎日新聞

毎日新聞創刊135周年プロジェクト

毎日新聞 1000大ニュース

とりあつかいせつめいしょ
取扱説明書

N検 NEWS 時事能力検定

NTR-YSVJ-JPN

このたびは“ニンテンドーDS”専用ソフト「毎日新聞1000大ニュース」をお買いあげいただき、誠にありがとうございます。
ご使用になる前に、この「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しい使用方法でご愛用ください。なお、この「取扱説明書」は大切に保管してください。

安全に使用していただくために…

⚠ 警告

- □ 健康のため、ゲームをお楽しみになるときは、部屋を明るくして使用してください。特に小さなお子様が遊ばれるときは、保護者の方の目の届くところで遊ばせるようにしてください。
- □ 疲れた状態での使用、連続して長時間にわたる使用は、健康上好ましくありませんので避けてください。また、ゲームをするときは適度に休憩をとってください。めやすとして1時間ごとに10～15分の小休止をおすすめします。
- □ ごくまれに、強い光の刺激や、点滅を受けたり、テレビの画面などを見たりしているときに、一時的に筋肉のけいれんや意識の喪失などを経験する人がいます。こうした症状を経験した人は、ゲームをする前に必ず医師と相談してください。また、ゲーム中にこのような症状が起きた場合には、直ちにゲームを中止し、医師の診察を受けてください。
- □ ゲーム中にめまい・吐き気・疲労感・乗物酔いに似た症状などを感じたり、目や手・腕に疲労、不快や痛みを感じたときは、直ちにゲームを中止してください。その後も不快感が続いている場合は医師の診察を受けてください。それを怠った場合、長期にわたる障害を引き起こす可能性があります。
- □ 他の要因により、手や腕の一部に障害が認められたり、疲れている場合は、ゲームをすることによって、症状が悪化する可能性があります。そのような場合は、ゲームをする前に医師に相談してください。
- □ ステレオヘッドホンを使用して大音量で長時間継続していると難聴になる恐れがあります。呼びかけられて返事ができるくらいの音量で使用してください。もし、耳の疲労や耳鳴りのような異常に気づいたら一旦使用を中止し、その後も耳鳴りのような異常が続いている場合は医師の診察を受けてください。

⚠ 警告

- □ 運転中や歩きながらの使用は絶対にしないでください。
- □ 航空機内での使用について、航空法により、離着陸時のあらゆる使用や飛行中の無線通信の使用は禁止されており、処罰の対象にもなりますので絶対にしないでください。
- □ 満員の電車やバスなど、混雑した場所では、心臓ペースメーカーを装着している方がいる可能性があるため、ワイヤレス通信をしないでください。
- □ 電車内や病院、医療機関などでは、無線通信が制限されている場合があります。そのような場所では、ワイヤレス通信機能を絶対に使用しないでください。
  ※電源ランプが変速点滅しているときは、ワイヤレス通信機能がONになっています。
- □ 心臓ペースメーカーを装着されている方がワイヤレス通信プレイを行う場合は、心臓ペースメーカーの装着部位から22cm以上離してください。
- □ DSカードを小さいお子様の手の届く場所に保管しないでください。誤って飲み込む可能性があります。

⚠ 注意

- □ DSカード、カードケースにはプラスチック、金属部品が含まれています。燃やすと危険ですので、廃棄する場合は各自治体の指示に従ってください。

使用上のおねがい

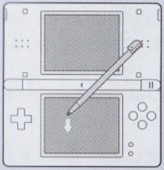
- □ 直射日光の当たる場所、高温になる場所、湿気やホコリ、油煙の多い場所での使用、保管はしないでください。
- □ 本体の電源ランプが点灯したまま、DSカードを抜き差ししないでください。
- □ ひねったり、叩きつけるなど乱暴な取扱いをしないでください。
- □ 衣類などと一緒に誤って洗濯をしたり、液体をこぼしたり、水没させたり、濡れた手や汗ばんだ手で触ったりしないでください。
- □ 端子部に指や金属で触ったり、息を吹きかけたり、異物を入れたりしないでください。
- □ 分解や改造をしないでください。
- □ 本体に差し込むときは、DSカードの向きを確かめて差し込んでください。
- □ シンナーやベンジンなどの揮発油、アルコールなどではふかないでください。清掃は乾いた布で軽くふいてください。

タッチスクリーンの基本操作

タッチペンでの基本操作には、次の２種類があります。

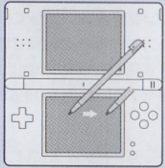
タッチする

タッチペンでタッチスクリーンを軽く押す操作を「タッチする」と言います。



スライドする

タッチペンをタッチスクリーンに軽く当てたまま、画面をなぞる操作を「スライドする」と言います。

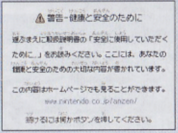


タッチスクリーンに関するご注意

- タッチスクリーンの操作は、本体付属のタッチペン、またはゲーム中に指定されたもので操作してください。
- 傷ついたタッチペンや変形したタッチペンを使用しないでください。
- タッチスクリーンを強い力でこすったり、押したりしないでください。
- 爪を立てて操作しないでください。
- 上画面をタッチペンなどでこすらないでください。
- タッチスクリーンに砂やゴミ、お菓子の食べかすなどを落とさないでください。
- 市販の保護シートを貼り付ける場合は、保護シートの取扱説明書をよく読んで、ゴミや気泡が入らないように正しく貼り付けてください。

ゲームの始め方

1.本体の電源がOFFになっていることを確認してから、DSカード差し込み口に「毎日新聞1000大ニュース」のDSカードをカチッと音がするまで、しっかり奥まで差し込んでください。
2.本体の電源をONにすると右の画面が表示されますので内容を理解されたら、タッチスクリーンをタッチしてください。
3.DSメニュー画面の「まいにちしんぶん 1000だいニュース」のパネルをタッチしてください。ゲームが始まります。
※本体の起動モードをオートモードに設定している場合、この操作は必要ありません。詳しくは本体取扱説明書をご覧ください。
4.以後の操作方法は6ページをご覧ください。





目次

MAINICHI 毎日新聞

毎日新聞創刊135周年プロジェクト
毎日新聞 1000大ニュース

はじめに……………………4
基本操作…………………6
始め方……………………8
プレイ方法………………10
モード紹介………………12
毎回新聞・号外…………21

はじめに

本ソフトは毎日新聞創刊135周年を機に、毎日新聞社とセガの共同で開発されました。日本で最も歴史の長い毎日新聞に掲載された135年分の記事から、1000件の重大ニュースをピックアップし、それらをクイズ形式で出題しています。

MAINICHI
毎日新聞

近現代の時事常識は、いざ学ぼうとしても学校や会社ではその環境に恵まれていません。その点、新聞はいわば"時事常識の集大成"です。しかしその情報量は膨大で、すべてを読み尽くすことは到底かないません。

そこで本ソフトでは、日本を象徴する事件・出来事を1000大ニュースとして選び出しました。そして単に閲覧するのではなく、クイズ形式で楽しく身に付けることができる仕組みになっています。

「ああ、あったあった！」と思い出して頬がゆるむ瞬間や、「へー、あれはそういう意味だったんだ」という新たな発見がきっとあるでしょう。そして、これらの時事常識は、入試・就職活動・ビジネス・生涯学習にきっと役立つに違いありません。

是非、本ソフトで時事常識を身に付け、知性あふれる現代人へとステップアップしましょう！

* 本ソフトのクイズは、毎日新聞1872年2月22日から2007年8月31日までの135年分（足掛け136年）の記事を元に作成しています。
* 収録記事は、当時の報道内容を再現するための資料として収録しています。そのため古い記事などには現在では不適切と思われる表現や語句などが残っていることもありますが、修正していません。
* 収録記事はあくまでも"掲載当日の報道内容"であるため、その後の事象、事態の変化、進展などにより実際の出来事とは異なっている場合があります。
* 古い記事など原文のままでは読みにくい文章は、一部現代の文章に直しています。
* 古い記事などはマイクロフィルムの保存状態などから、判別できない文字も存在します。可能な限り再現していますが、内容を100%再現したものではありません。
* 係争中の事案などで、人権・プライバシー等を考慮し、匿名化するなど記事内容の一部を修正している場合があります。
* 収録記事の中には、クイズには引用していないものもあります。
* ほとんどのクイズは、その元となる記事とリンクしていますが、クイズによってそのニュースを直接報道した記事が存在しないケースもあります。

毎日新聞の歴史

1872年（明治5年）	「東京日日新聞」創刊。東京で最初の日刊紙、毎日新聞の前身。
1876年（明治9年）	「大阪日報」創刊。
1888年（明治21年）	「大阪日報」、「大阪毎日新聞」と改題。
1911年（明治44年）	「大阪毎日新聞」と「東京日日新聞」が合併。全国紙として第一歩を踏み出す。
1943年（昭和18年）	「大阪毎日新聞」「東京日日新聞」の題号を毎日新聞に統一。
1987年（昭和62年）	毎日新聞紙齢40,000号。
2007年（平成19年）	創刊135周年。

「ニュース検定」の演習問題を収録

ニュース検定（正式名称：日本ニュース時事能力検定）とは、2007年9月から検定がスタートした、新聞やテレビのニュース報道を読み解くための「時事力」を認定するものです。「時事問題」に欠かせないキーワードや流れについての知識を、1級から5級の5段階に分けて測定、評価をします。本ソフトでは実際の出題者が作成した2～5級の模擬問題を収録しています。

ニュース
時事能力
検定試験
N検 NEWS 時事能力検定

主催：NPO法人日本ニュース時事能力検定協会／毎日新聞社など

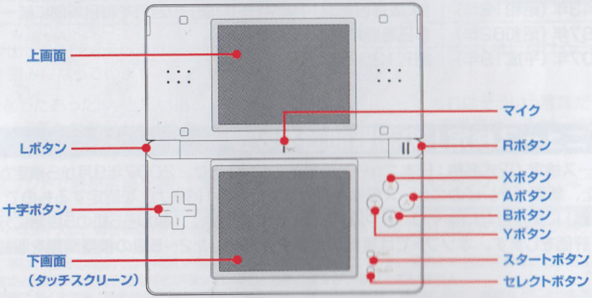
http://www.newskentei.jp/

※ニュース検定に関する情報は2007年8月末現在のものです。

基本操作

本ソフトは基本的に下画面（以降「タッチスクリーン」）をタッチすることで操作します。上画面をタッチしないように注意してください。また、タッチスクリーンをタッチペン・タッチストラップ以外のもので操作すると、故障の原因となりますので絶対にやめてください。

本体各部の名称



ボタン操作

一部操作のみボタンを使用します。

十字ボタン上下	記事画面のスクロール
スタートボタン	問題回答中の中断
L・Rボタン	問題に参照図がある場合の表示

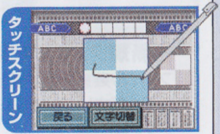
タッチペン操作

タッチする



タッチスクリーンに表示される項目・選択肢・矢印などをタッチして操作します。

文字を書く



実際に文字を書く要領で指定された枠の中でスライドさせると、文字を書き込むことができます。

〈入力のコツ〉

・通常の文字は枠の中央にバランス良く入力しましょう。
・小さい文字（あいうえおつやゆよわ等）は枠の下段に入力しましょう。
・形状が似通っている文字が複数ある場合、より特徴を明確にして入力しましょう。例えば「L」と「C」の場合、縦を短く横を長く書くと「L」として認識されます。

本ソフトはオートセーブ機能に対応しています。画面切り替え時には電源をOFFにせず、メインメニューに戻って終了するようにしましょう。

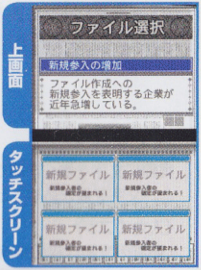
ゲーム中に本体を閉じるとスリープモードになり、バッテリーパックの消費を抑えることができます。スリープモードは本体を開くと解除されます。

始め方

タイトル画面が表示されたらタッチスクリーンにタッチしてください。ファイル選択画面が表示されます。以降、基本的に項目・選択肢・「決定」・「次へ」などをタッチすると次の画面に進み、「戻る」などをタッチすると前の画面に戻ります。

ファイル選択画面

新規プレイの場合は「新規ファイル」、前回の続きの場合は登録した名前のファイルをタッチしてください。「設定変更か？」を選ぶと、そのファイルの設定を変更できます。以下は新規プレイの場合の流れです。

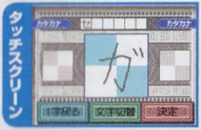


❶新規ファイルを選ぶ

ファイル選択画面が表示されたら、「新規ファイル」をタッチしてください。「号外（→P.21）」が発行されるので新聞にタッチしましょう。

（→P.21）

❷ネームエントリー



枠の中に文字を書き込んでファイル名を登録してください。「文字切替」をタッチすると、文字の種類を切り替えられます。また「1字戻る」で入力した文字を削除できます。

❸利き手の選択

右利き／左利きのどちらかを選択します。利き手によって、新聞記事の閲覧時に上画面・タッチスクリーンの表示が入れ替わります。

❹生年月日の登録

生年月日を年（西暦）・月・日の順に入力してください。

❺記事方向の選択



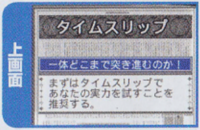
記事の閲覧や「記事・ミスチェック（→P.16）」時に、読む方向を縦書き／横書きから選択できます。選択するとテスト画面が表示されるので、向きを確認してください。「戻る」をタッチすると前画面に戻り、もう一度同じ向きを選べば決定です。なお、縦書きにした場合は、記事の閲覧や「記事・ミスチェック」時にDS本体を持ち替える必要があります。

❻確認

入力した情報が表示されます。よろしければ「決定」をタッチしてください。「毎回新聞（→P.21）」が発行されるので新聞にタッチしましょう。読み終わって「次へ」をタッチすると、「初回タイムスリップ」に進みます。

※本取扱説明書では、利き手を「右利き」、記事の方向を「横書き」に設定した場合で画面写真を記載し、内容を説明しています。

初回タイムスリップ



初回プレイ時にのみ挑戦できる特別な「タイムスリップ（→P.12）」です。この初回タイムスリップで年を多く遡るほど、「クイズ・大事件（→P.14）」で最初から選べる問題の年代が多くなります。例えば、1975年まで解答できたら、1970年代の問題まで最初からプレイ可能です。
なお、初回タイムスリップでは、ジャンル選択・中断データのセーブ・コンティニューはできません。終了すると、メインメニューに進みます。

プレイ方法

本ソフトでは、基本的に上画面に問題、タッチスクリーンに選択肢や入力枠などの解答欄が表示されます。上画面の問題を読んでタッチスクリーンで答えをタッチ・入力してください。



4択問題

問題の種類

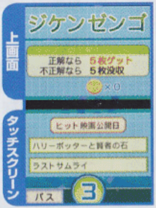
主に出題される形式は4択問題です。他に、○×問題や文字入力問題もあります。また、「ジケンゼンゴ（→P.15）」では2つの出来事のうちどちらが古いかを選ぶ、「記事・ミスチェック（→P.16）」では記事文章で明らかに誤りである言葉にタッチする、といった形式もあります。



○×問題



文字入力問題



ジケンゼンゴ



記事・ミスチェック

解答方法

選択肢か○×をタッチ、または文字入力後「決定」をタッチします。文字入力問題の場合は「パス」もできます（誤答扱い）。なお「ジケンゼンゴ（→P.15）」以外の問題は、すべて時間制限はありません。

解説

「クイズ・大事件（→P.14）」や「ニュース検定（→P.18）」では解答後、解説が表示されます。△▽をタッチすると文章をスクロールさせることができます。

記事の閲覧

解答後「記事へ」をタッチすると、その問題に関する新聞記事を閲覧できます。閲覧画面では、上画面に当時の記事紙面写真、タッチスクリーンに文章が表示されます。



記事の見方

△▽をタッチするか、十字ボタン上下で記事文章をスクロールさせることができます。また見出しに続きがある場合は▶をタッチすると続きを読むことができます。また、タッチスクリーン右下に「写真」アイコンがある場合、タッチして関連写真をみることができます。

DS本体の持ち替え

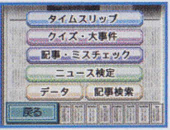
ファイルの設定で記事方向の選択を縦書きにしている場合、閲覧時に限りDS本体を縦に持ち替える必要があります。

※上画面の記事画面写真は固定で、拡大や回転はできません。上画面をタッチして本体を傷つけないようお気を付けください。

モード紹介

新規プレイ時の初回タイムスリップ終了後や、作成済みのファイルを選択すると※、メインメニューが表示されます。モード名をタッチすると次の画面に進み、「戻る」をタッチするとタイトル画面に戻ります。なお、各モードを初めてプレイする場合のみ説明が表示されます。

タッチスクリーン



※その日に初めてプレイする場合は、「毎回新聞（→P.21）」が発行されます。

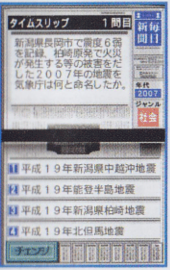
タイムスリップ

「タイムスリップ」は、2007年から1872年に向けて1問ごとに出題内容が古くなっていく問題に答え、136問連続※正解を目指すモードです。1問でも間違えると失敗になりますが、コンティニューも可能です。

※ジャンル「総合」の場合。他のジャンルでは1872年に至るまでの問題数が136問より少ないものもあります。

上画面

タッチスクリーン



ジャンル選択

6つのジャンルからどれか1つを選んでください。「タイムスリップスタート」をタッチすると、問題開始です。

タッチスクリーン



進め方

チェンジ

答えが分からなかった場合、各年ごとに1回だけ「チェンジ」をタッチして問題を変更できます（同条件の年代・ジャンルの問題が他に無かった場合を除く）。

中断データのセーブ

各年代（2000年代、1990年代…）を制覇すると、その時点で中断データをセーブして、メインメニューに戻ることができます。次回タイムスリップをプレイする際に「続きから」を選ぶと、中断時点から再開できます。



タッチスクリーン

※次回プレイ時に「最初から」を選ぶと、中断データは失われますので注意してください。
※スタートボタンによる中断は、タイムスリップの進行状況を一切保存しないのでご注意ください。
※再開時点で中断データは消去されますので、同じ中断データから2回以上再開することはできません。「続きから」でプレイし不正解の後、そのまま終了すると、2007年から再スタートとなります。

コンティニュー

間違えた時点で「到達失敗」となりタイムスリップは終了ですが、「ジケンゼンゴ（→P.15）」で集めたメダルを使用すればコンティニューが1回だけ可能です。メダルは、それまでに到達した問題数分の枚数が必要になります。



タッチスクリーン

結果発表

タイムスリップが終了すると、到達度を示す結果画面が表示され、「終了」をタッチするとジャンル選択に戻ります。



タッチスクリーン

クイズ・大事件

「クイズ・大事件」には、5つのジャンルと14個の年代に分けて問題が収録されています。初回タイムスリップの結果や問題正解の到達度によって、2000年代から1870年代に向けて問題がオープンされていきます。各ジャンル・年代の収録問題数には違いがあり、現代に近いほど多くの問題が収録されている傾向があります。



年代・ジャンル選択

テレビ欄を模した表で、明るい枠が選択可能な問題です。新しくオープンされた枠は「新」、選択済みの枠は「再」が表示されます。また、進行に応じて以下のように表示・選択可能になります。

- ●30%以上正解すると、現在挑戦していた枠の1つ上の枠がオープンされます。
- ●縦（ジャンル）／横（年代）のすべての枠で30%以上正解すると、ジャンル名・年代名をタッチして各ジャンル・年代の総合問題を選べます。
- ●すべての枠で30%以上正解すると、をタッチして全ジャンル／年代の総合問題を選べます。
- ●50%以上正解で「銅の勲章」、75%で「銀の勲章」、100%で「金の勲章」が表示されます。

進め方

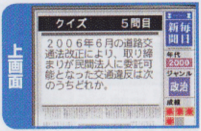
問題を解く／復習をする



「問題を解く」をタッチすると問題開始です。以前に挑戦して間違えたままの問題がある場合のみ、「復習をする」をタッチしてもう一度復習することができます。なお、すべての問題に正解した場合は「問題を解く」のみ選択可能で、ランダムに問題が出題されます。

出題問題数

基本的に1回で5問出題されます。ただし、選んだ年代・ジャンルの問題の中で、まだ出題されていない問題（あるいは「復習をする」を選んだ場合で対象となる問題）が5問に満たない場合は、残された問題だけ出題されます。



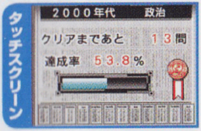
ジケンゼンゴ

出題が終了して1問以上正解していると、「ジケンゼンゴ」出題画面に進みます。これはタッチスクリーンに表示される2つの出来事のうち、どちらが古いかを3秒以内に当てるクイズです。正解すると、先ほどの出題での正解数分のメダルがもらえ、間違えるとその分のメダルを没収されます。タッチスクリーン左下の「パス」をタッチすると、メダルの増減無く問題をパスできます。なお、メダルは「タイムスリップ」でのコンティニューに使用します。



結果発表

挑戦した年代・ジャンルの問題をすべてクリアするまでの残り問題数と、その達成率が表示されます。達成率が30%に達すると、そのジャンルの次に古い年代の問題がオープンされます。



続けて問題を解く／見直しをする

引き続き残されている問題に挑戦する場合は「続けて問題を解く」、今挑戦した問題を見直す場合は「見直しをする」をタッチしてください。「終了」をタッチすると年代・ジャンル選択に戻ります。



記事・ミスチェック

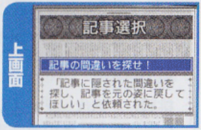
「記事・ミスチェック」は、記事に隠された5つの間違いを見つけ出す問題です。文章を読み進めながら、新聞記事として明らかに誤りである言葉にタッチしましょう。5つの間違いをすべて見つけ出すか、間違っていない言葉にタッチして5回ミスしてしまうと終了です。

※出題されている記事は、実際の新聞記事を元に作成されています。
※記事内に設定された「誤り」は、事実としては間違っていなくても新聞記事として用いられない言葉なども含まれています。



記事選択

記事のリストが表示されるので、挑戦したい記事をタッチしてください。をタッチすると、リストをスクロールさせることができます。また見出しに続きがある場合はをタッチすると続きを読むことができます（タッチをはなすと見出しは元に戻ります）。「記事・ミスチェックスタート」をタッチすると、問題開始です。



進め方

DS本体の持ち替え

ファイルの設定で記事方向の選択を縦書きにしている場合、問題中に限りDS本体を縦に持ち替える必要があります。

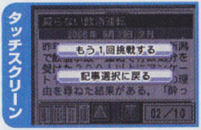
間違っている言葉をタッチ

記事文章を読み進めて、明らかに間違っている言葉を探し出しましょう。タッチして正解だった場合は赤、不正解だった場合は青に言葉が変わり、以降その言葉は選択できません。▲▼をタッチするか、十字ボタン上下で記事文章をスクロールさせることができます。また見出しに続きがある場合は▶をタッチすると続きを読むことができます。



クリア／失敗

5つの間違いを探し出してクリアすると、「終了」をタッチして記事選択に戻ります。失敗した場合は「もう1回挑戦する」「記事選択に戻る」を選べます。「もう1回挑戦する」の場合、失敗時に正解／不正解した赤／青の表示はそのまま残されています。



問題の追加

1つの記事をクリアすると金の勲章が表示され、新しい記事が1つ追加されます。

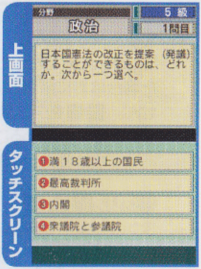


ニュース検定

「ニュース検定」は、実際の検定問題出題者によって作成された2007年度の2級～5級の模擬問題が収録されています。出題はすべて4択問題で、1ラウンド12問が出題されます。

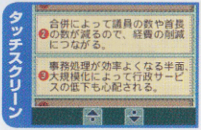
級選択

どの級に挑戦するか、2～5級から選択してください。「ニュース検定スタート」をタッチすると問題開始です。なお、「ニュース検定とは」をタッチすると、ニュース検定に関する情報を見ることができます。



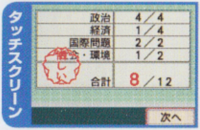
進め方

▲▼をタッチすると選択肢をスクロールさせることができます。問題に参照図がある場合は、L・Rボタンを押して表示させてください。なお、解答後は「解説表示」「選択肢表示」をタッチして切り替え可能です。



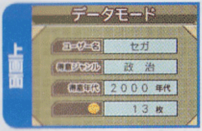
結果発表

出題が終了すると合計／各分野ごとの正解数が表示され、一定数以上正解するとクリア認定証が表示されます。次の画面に進むと出題された問題の確認ができ、「終了」をタッチすると級選択に戻ります。



データ

「データ」は、ユーザー名、得意ジャンル・年代、メダル枚数、ジャンル別・年代別成績、過去に発行されたあなたの新聞（毎回新聞・号外→P.21）を確認できます。



ジャンル別成績

政治／社会／スポーツ／文化／経済の5つのジャンルにおける、あなたの成績をグラフで表示します。なお、グラフ表示中にジャンル名をタッチすると、そのジャンルの正解率とコメントが表示されます。



年代別成績

2000年代から1870年代にかけてのあなたの成績をグラフと正解率で表示します。をタッチするとグラフをスクロールさせることができます。



あなたの新聞

カレンダーが表示され、プレイ日には新聞アイコン、号外が発行された場合は「号」マークが付いています。日付にタッチすると毎回新聞・号外を見ることができます。をタッチするとカレンダーをスクロールさせたり、他のプレイした日を選ぶこともできます。



※発行された毎回新聞・号外は、計128冊まで保存されます。以降新しい新聞が発行された場合は、古いものから自動的に消去されていきます。

記事検索

「記事検索」は、本ソフトに収録されている新聞記事を、ジャンル／年代別に検索して直接閲覧することができるモードです。「ジャンルで探す」「年代で探す」のどちらかをタッチしてください。なお、ファイルの設定で記事方向の選択を縦書きにしている場合、閲覧時に限りDS本体を縦に持ち替える必要があります。

ジャンルで探す

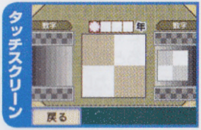
始めに7つのジャンルから該当ジャンルをタッチしてください。次にいくつかのサブジャンルが表示されるので、同じく該当ジャンルをタッチします。

上画面に検索結果、タッチスクリーンに記事リストが表示されるので、閲覧したい記事をタッチしてください。▲▼をタッチするとリストをスクロールさせることができます。また見出しに続きがある場合は▶をタッチすると続きを読むことができます（タッチをはなすと見出しは元に戻ります）。



年代で探す

1872年から2007年までの数字を入力して、該当する年の記事を閲覧できます。検索結果や記事リストの表示は、ジャンルリストと同じです。



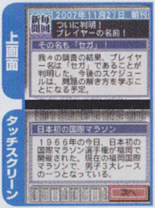
毎回新聞・号外

その日の初プレイ時に「毎回新聞」、初回プレイ・全問正解など、特別な状況になった場合に「号外」が発行されます。





新聞小僧



毎回新聞



号外

バックアップ機能に関するご注意

- □ このDSカードには、ゲームの成績や途中経過をセーブ（記録）しておくバックアップ機能がついています。
- □ むやみに電源をON/OFFする、電源ランプが点灯したままDSカードを抜き差しする、操作の誤り、端子部の汚れなどの原因によってデータが消えてしまった場合、復元はできません。ご了承ください。
- □ セーブデータを改造する装置の使用は、ゲームを正常に進められなくなったり、セーブデータが壊れたり消えたりする原因となりますので、絶対におやめください。万一こうした装置を使用してセーブデータを改造された場合には、改造する前の状態に復元することはできませんので、十分にご注意ください。



知的好奇心研究所 なるほど堂 http://naruhodo.sega.jp/

Decuma 本製品はZi Corporationの手書き文字認識エンジン "Decuma®" を使用しています。
"Decuma®" はZi Corporationの登録商標です。

The typefaces included herein are solely developed by DynaComware.

「N検」は株式会社 毎日教育総合研究所の商標です。

この商品に関するお問い合わせ先

株式会社セガ 〒144-8531 東京都大田区羽田1-2-12
セガ カスタマーサポート ナビダイヤル 0570-000-353
ゲームの内容や攻略法に関するお問い合わせにはお答えしておりません。
受付時間10:00～17:00 月～金（祝日及び弊社指定休日を除く）
※0570より省略せずにおかけください。※通話料がかかります。

※弊社の商品は、常に調査・研究・改良の努力を行っておりますので、お買い求めのソフトと印刷物の内容が一部異なる場合があります。あらかじめご了承ください。

689-00289

SEGA® 株式会社セガのオフィシャルサイトです。
セガ 公式サイト http://sega.jp/
家庭用ゲームからアミューズメント施設、会社案内まで情報が満載。
セガの"今"がわかる公式サイトで最新情報をチェック!

SEGA DIRECT 株式会社セガのオフィシャルショッピングサイトです。
セガダイレクト http://segadirect.jp/
ゲームソフトやグッズ、攻略本、音楽CDなどゲーム関連商品が豊富な品揃え!
オリジナル商品やポイントサービスもあります。